

## 2023年度（2023年4月～2024年3月）

### アルバイト・パート募集時平均時給調査 年間まとめ

2023年度の年間平均時給は2022年度より30円増加の1,125円

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：北村 吉弘、以下リクルート）の調査研究機関『ジョブズリサーチセンター（JBRC）』（<https://jbrc.recruit.co.jp/>）は、「2023年度（2023年4月～2024年3月）アルバイト・パート募集時平均時給調査 年間まとめ」を作成しましたのでご報告致します。

#### 過去最大の上げ幅となった最低賃金の改定や春闘の影響で上昇傾向が続いた1年



ジョブズリサーチ  
センター長  
宇佐川 邦子

2023年度（2023年4月～2024年3月）の年間における募集時平均時給（全国）は、2022年度（2022年4月～2023年3月）と比較して30円増加の1,125円（増減率+2.7%）でした。2021年度（2021年4月～2022年3月）から2022年度にかけては、一時的に平均時給が低下した月があるものの、全体としては上昇傾向にありました。2023年度においても上昇傾向が続いており、コロナ禍前の水準を大きく超えています。全国加重平均で前年度+43円の引き上げとなった2023年10月の最低賃金改定や春闘も影響し、2024年2月度には過去最高額を更新する1,151円（前年同月比+4.5%）となりました。

人材不足が進む中、企業側が人材を新たに確保するためには、賃金の見直しだけではなく働き手に寄り添った多様な働き方を用意する工夫が必要となってきています。例えば主婦・主夫、シニア、学生など、働き手によって希望する勤務時間や勤務日数などは大きく異なります。そのため、働き手に合わせて業務を切り出し2～3時間の仕事を作るといった工夫や、「アクティブに働きたい」「黙々と作業したい」などの個人の希望に合わせて、担当してもらう業務を変える取り組みなども効果的です。また、既存従業員の定着率向上も重要です。長期的な就労を見据え、主婦・主夫が子供の成長に合わせて勤務時間を変えることのできる仕組みを作ったことで、離職率が改善した事例などもあります。このように長く活躍できる仕組み作りが今後ますます求められるでしょう。

#### ■ 2023年度 募集時平均時給（全国）の上昇要因

- 販売・サービス系：インバウンド需要の回復により空港や宿泊関連業務の動きが活発化、時給も上昇
- フード系：慢性的な人材不足の影響により、繁忙月以外でも継続して求人募集が行われ時給も上昇
- 製造・物流・清掃系：ホテル清掃など需要の高い職種で人材不足感が高まり時給も上昇
- 事務系：入社回帰による受付需要の増加なども影響し、わずかに時給も上昇
- 営業系：唯一平均時給が低下 ※営業系は個別企業の動向により変動しやすいため留意が必要
- 専門職系：比較的平均時給が高い看護師や塾講師などでも、さらに時給が上昇

本件に関する  
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

2022年度と2023年度の職種大分類別募集時平均時給の比較（全国）

全職種			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,095	1,125	30	2.7%

販売・サービス系			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,052	1,090	38	3.6%

製造・物流・清掃系			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,110	1,135	25	2.3%

営業系			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,199	1,170	▲ 29	-2.4%

フード系			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,039	1,086	47	4.5%

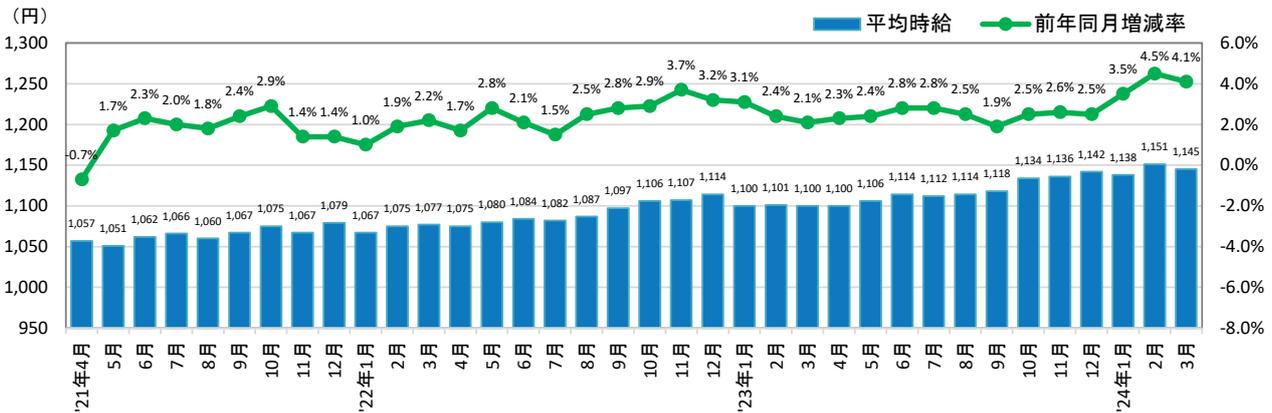
  

事務系			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,198	1,201	3	0.3%

専門職系			
22年度平均時給（円）	23年度平均時給（円）	増減額（円）	増減率
1,298	1,312	14	1.1%

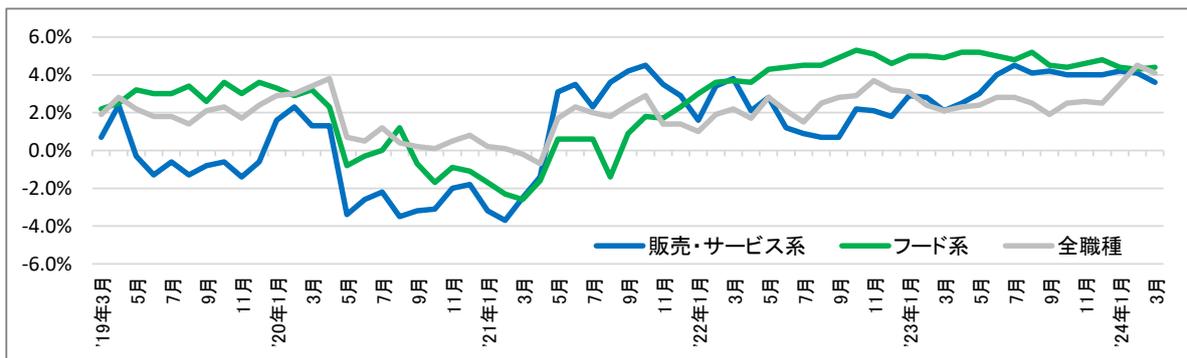
募集時平均時給（全国）の推移



■ 販売・サービス系、フード系の直近6カ月の前年同月増減率は4~5%と高止まりで推移

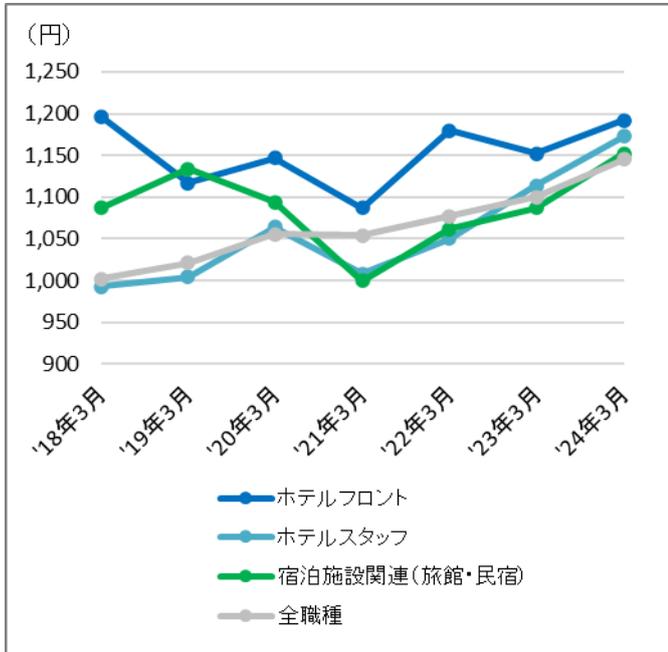
上表の2023年度の増減率を職種大分類別に見ると、フード系が最も高く+4.5%（47円増加の1,086円）、次いで販売・サービス系が+3.6%（38円増加の1,090円）でした。前年同月増減率で見ると、特にフード系は5%を超える月もあり、コロナ禍前に比べて高水準、かつ、他職種と比較して大きく上昇していることも特徴です。販売・サービス系、フード系が増加している理由として、アフターコロナで外出機会が増えたことで、ファストフードやアパレル販売、化粧品販売の需要が高まり、人材不足が進んでいることが挙げられます。また、インバウンド需要の回復でホテルフロントなど宿泊関連業務の平均時給も上昇しています。

販売・サービス系、フード系 募集時平均時給（全国）の前年同月増減率の推移



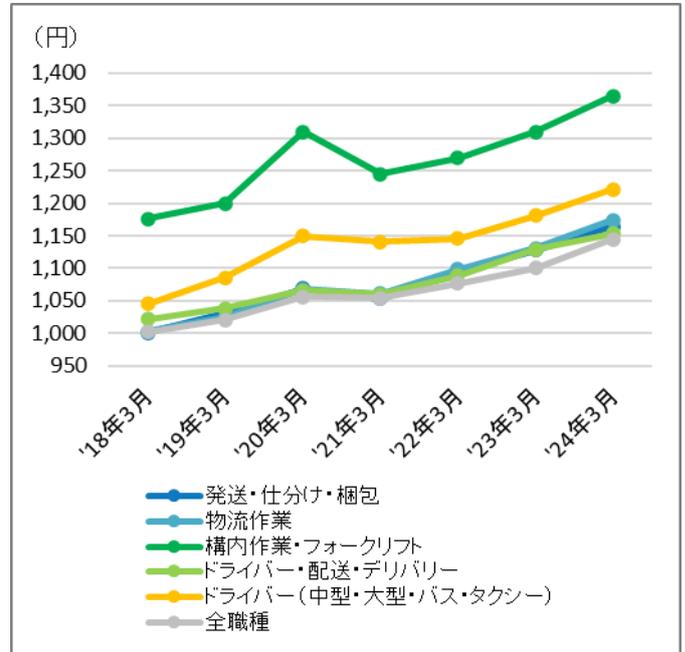
■ 過去7年分の職種別（宿泊関連／物流関連／看護師・介護福祉士／保育士）募集時平均時給の推移（全国）

宿泊関連業務



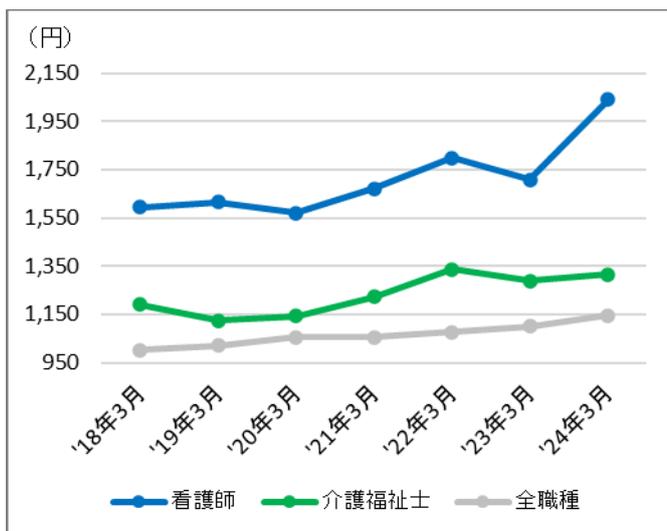
インバウンド需要で時給も上昇傾向。早朝や深夜などの特定の時間帯で人材が集まらず、時間を限定して求人募集を行う傾向も見られる。

物流関連業務



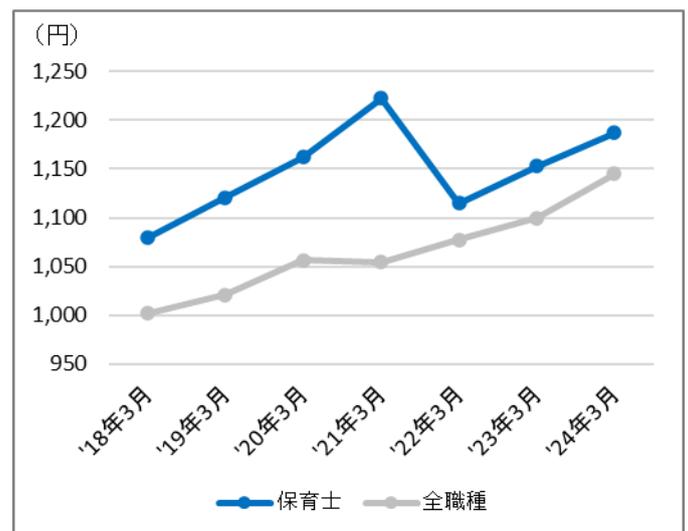
需要が増加した物流関連では時給も上昇。物流ドライバーの労働時間が制限される物流 2024 年問題の影響もあり、企業はドライバー業務の一部切り出しや配送ルート効率化など工夫を行っている。

看護師・介護福祉士



国民の約3人に1人が65歳以上となる2025年以降を見据えて時給も上昇傾向。

保育士



コロナ禍におけるテレワークの増加などにより、需要が高まり時給も上昇。アフターコロナで一時的に低下したものの、保育士不足に伴い再度上昇傾向に。2024年の配置基準変更により、今後時給への影響が見込まれる。

## ■ 調査概要

当社が企画運営する求人メディア『TOWNWORK』『fromA navi』に掲載された求人情報より、「アルバイト・パート」募集の求人情報を抽出し、募集時平均時給を集計した。

※各数値は四捨五入しているため、増減額および率が表記内の数値を集計した結果と一致しない場合がある。

<集計対象件数（全国）>

2024年3月度 96万7,432件

※当該件数は平均時給調査に際して集計した求人の件数であり、集計対象とする求人メディアに掲載されている求人の総数ではない。当該件数を用いてその他の月の集計対象件数と単純比較することはできないため注意が必要。

※各月の集計対象件数は過去のリリース資料をご確認ください。

<集計対象職種について>

対象媒体に掲載される求人情報より、大分類は以下の通り。なお、「その他」については掲載を割愛している。

販売・サービス系	フード系	製造・物流・清掃系	事務系	営業系	専門職系	その他
----------	------	-----------	-----	-----	------	-----

<集計対象媒体について>

『TOWNWORK』：「家の近くで働きたい」「学校の近くで働きたい」など勤務地を重視する読者へ向けた求人メディア。全国で展開。

『fromA navi』：アルバイト・仕事探しの総合求人情報サイト。関東、関西、東海エリアを中心に、北海道・東北、甲信越・北陸、中国・四国、九州・沖縄、リゾートの全8版を展開。

## リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>